

「アトピー手記」江口 拓 2歳

2006年3月5日

私達には2人の息子がおります。二男は、生後2ヶ月頃から頬が赤くカサカサしていました。長男も生後3ヶ月頃まで多少の湿疹がありました。ガーゼでこまめに拭いているうちに、いつの間にか良くなっていたのですが、二男はそうではありませんでした。1月生まれと6月生まれなので、気候のせいかな？とも思っていました。

2人が風邪をひいてしまい、かかりつけの小児科で、二男のカサカサを相談すると、『何もしなくても良いと思うけど、心配だったら、皮膚科へ行ってみたら？』と言われたので、皮膚科へ行く事にしました。

皮膚科の先生は、『何もしなくて良い事はないよ！ちゃんとしてあげなきゃ』と仰いました。「脂漏性湿疹だから、1ヶ月くらいで良くなる」そう言って、キンダベート(ステロイド)を処方されました。頭の片隅に、「ステロイドって大丈夫なのかな？」と思っていたので、薬剤師の方に尋ねると、『これは、ごく弱い方よ。もっと強いのを貰ってる人もいるから、大丈夫！！』そう言われました。不安はあったものの、「1ヶ月で良くなる」と言う先生の言葉を信じるしかありませんでした。

薬を塗ると、あっという間に湿疹は消えました。しかし、塗らないとまた出てきます。1ヶ月検診で、産婦人科の先生に聞くと、『その薬は、あまり塗らない方が良いでしょう』と言われました。

良くなると言われた1ヶ月も空しく過ぎ、別の皮膚科を受診する事にしました。そこでは、『乳児湿疹だね。良い日と悪い日を繰り返しながら、10ヶ月頃には良くなるでしょう』と言われ、悪い日はキンダベート、ちょっと良い日はワセリンとサトウザルベの混合を貰いました。それから1ヶ月、言われたように薬を塗り続けるも、『本当にこれで良いの？そんな気持ちで一杯でした。』

インターネットで色々調べているうちに、「息子はアトピー性皮膚炎なのかもしれない。このままステロイドを使い続けると、何らかの副作用もあるらしい。」そんな事を思うようになりました。それから、ステロイドを使わずにアトピー治療をしている病院を探しては、受診しました。

1件目では、「皮膚病は、腸の汚れ、腸を綺麗に」と言われ、浣腸をし、自律神経を整えるように言われました。その治療方法は、熱い湯・冷水と交互に入ることでした。4ヶ月の息子を、真冬、心を鬼にし、20°Cの冷水に浸けました。しかし、特に良くなるような気配はなかったため、次の病院を探すことにしました。

2件目の総合病院のアレルギー科では、「薄いシルクの衣類を1枚だけ着せるように」言われ、「夏はエアコンで部屋を冷たくし、お風呂には入れない事、皮膚を空気に触れさせないように」と指示されました。『ズボンを脱がさず、オムツを替える工夫をなささい』と言われた時には、途方に暮れました。アレルギー用のミルクも、皮膚や便の状態を見て、あれこれ変えるように言われました。最初に口にする食べ物は、病院で写真(顔・体)を撮ってもらい、15分後、30分後、1時間後・・とチェックされました。ブドウ球菌が繁殖しているといい、ワセリンとサトウザルベをべったり塗って、ガーゼで覆うように言われました。しかし両足からの浸出液は、1ヶ月もだらだらと出続けている状態でした。

そうこうしているうちに、半年が過ぎましたが、息子はちっとも良くなりませんでした。

そんな時、実父から、漢方薬でアトピーが治ると、TV番組で言っていたと聞きました。早速、その漢方薬局へ行ってみる事になりました。ここでの指示は、病院とはまったく違ったもので、これまでの治療方法に疑問を感じていた私は、目から鱗・・の状態でした。まず食事は、ご飯やうどんを中心に炭水化物をしっかり食べさせる事でした。皮膚を綺麗に洗い、清潔に保つように・・とも言われました。5月から10月まで一度もお風呂に入らなかった息子が、お風呂に入れることを喜びました。飲み薬は、漢方の粉薬にあめ玉のようなものを入れて甘く煮たものでした。

病院での治療とは違って、僅かではありましたが改善しているようでした。『医者ではないのに、薬局で治るという保障が出来るのだろうか?』飲み始めて1ヶ月経ち、その事を不安に思い始めていた時に、インターネットで、『娘のアトピーが完治しました』と、松本医院を受診された方の書き込みを見つけました。松本先生の『アトピー根本治療法』を読み、手記を全て印刷して読みました。

総合病院では、「赤ちゃんは、アレルゲンを見つけるのが簡単だから、すぐに治るよ」と言われながら、アレルギー反応のある食品等を除去しても、改善は見られず・・次はどうでしょうか?の確かな答えもなく・・一方、松本先生の治療法には、どんな事を行わなければならないのか?するとどうなるのか?最後は..?その十分な答えが用意されていました。これまで私達が不信感を抱いていた事を全て払拭するような理論でした。なお、患者さんの手記を読むことによって、『戦っているのは私達だけじゃない!辛いのは私達だけじゃない!最後には完治している!!』そう信じる事が出来ました。

H16年11月21日 初診

松本先生の事を『白髪交じりで恰幅の良い人』と想像していた私は、180度違う姿に驚きました。大きな声と早口・・は、手記を読んで知っていましたが・・具体的な例を挙げながら、アトピーの痒みや搔いても良いと言う理論を説明さ

れ、息子に『可愛こちゃ〜ん！絶対治したるでえ〜！』と何度も言って下さいました。そして、主人と私とに握手をして、『連絡を密にとって行こう！』と仰いました。

スタッフの方から、入浴剤の使い方や消毒の仕方、薬の塗り方を教えて頂きました。「絶対、治そうね！頑張ろうね！」そう気合を入れて、聞いた事を忘れないようメモを取りました。そして、不安なことは何度か尋ねて帰路に着きました。

あんなにも浸出液が出ていたのに、それは3日も経つと、ピタリと治まりました。顔・腕・両足の消毒には時間がかかり、毎日が慌しく過ぎました。お風呂は、子供が疲れてぐずるので、お茶やジュースで誤魔化しながら入りました。ぐずる子供をあやしたり、こちらも同じように疲れるので、30分が限界でした。

不安や疑問に思うことは、すぐに電話で尋ねました。患者からの電話に出て指示をしたり、自宅の電話番号を教えてくれる先生が、他にいらっしゃるでしょうか？松本先生は、誠心誠意患者への治療に対して責任を持っているんだなあ〜と心強く思いました。

来る日も来る日も、お風呂に充分入れない分を消毒と塗り薬でカバーしました。朝晩の消毒は、お風呂の濃い液だけでは拭い切れないので、シャワーで流しました。掻き篋ると、益々消毒に時間が掛かることや、少しでも早く傷が塞がるようにしたかったので、手にはミトンを付け、取れないように、ズボンもめくれないように工夫をしました。それでも掻いて血が出る事が、多々ありました。

果物は何でも食べさせましたし、反応が出ていた小麦と海老も、遠慮なく食べさせました。ただ、卵と牛乳は、反応の数値が高かったので、子供の傷具合や体調を見ながら、少しずつ食べさせて行く事にしました。

治療を始めて5ヶ月が過ぎようとしていた頃、細菌に感染している様子ではないのに、熱が引かないので、近くの内科を受診したら、『風邪でしょう』との事でした。3日目の夜になっても熱が引かないので、夜になって救急病院に連れて行きました。肺炎との事で、その夜から入院することになりました。点滴を打つと言うので、「ステロイドが入った薬は使わないで下さい」とお願いしました。翌朝、担当の先生が来られましたので、子供がアトピーの治療で、松本医院にかかっている事、飲み薬は松本先生の許可を貰ったものしか飲ませたくない事を伝えました。最初は怪訝そうな顔で、話が理解出来ない様子でしたが、子供を守ってあげられるのは自分しか居ないと思うと、担当の先生が分かってくれるまで何度でも言うしかありませんでした。この先生の言うままにして、治療が逆戻りになるのは避けたかったのです。ここだけは、どうしても譲ることは出来ませんでした。しかし、命に関わる事だったらどうしよう・・・と思ったのも事実です。

松本先生に、肺炎で入院している事を言い、薬の事を尋ねました。離れていても、こうして指示をして下さるので、心強かったし、有難く思いました。

それから1ヵ月後、再び発熱。今度は、熱と共に、腕に水泡が出来ていました。その水泡は、指や体に広がってきました。ヘルペスウイルスに感染しているとの事で、先月と同じ総合病院に入院しました。前回、薬の事で私の話を理解してくれた女の先生が主治医でした。先生は、『お母さんを通じてお薬の話をする行き違いがあるから、松本先生と直接話をしたい。』と仰いました。松本先生に事情を話すと、快諾して下さいました。その日は、病院がお休みでしたので、自宅に連絡をしました。

この後、ヘルペスは治ったものの、赤い発疹が胸・お腹・背中に出来ていました。暖かい時期になろうとしていたので、全身を消毒した後、シャワーで流しました。それも1ヶ月程度で、無くなりました。

治療開始から7ヶ月目に、2度目の受診。この頃から、あまり痒がらなくなってきました。太ももの内側とひじ、足の甲には、若干の傷はありましたし、頬も赤くなったりならなかったりを繰り返していました。松本先生からは、消毒やお風呂を欠かさない、アレルギー反応のある食べ物も食べさせるようにとの指示がありました。実際は怖かったので、たま～に食べさせる程度でした。

しかし、その後玉子焼きやチーズを食べても、ひどくなったり湿疹が出ることはなく、口の周りが赤くなるのが、たまにありましたが、卵や牛乳に限りませんでした。それもごく僅かな時間だけで、すーっと引いて行きました。

治療開始から11ヶ月目に、3度目の受診。

この日、松本先生から、『10月の花粉の時期が終わったら、お風呂も2日に1度でも良いよ』と言われました。それと、待ちに待っていた『手記』を書くように…との話がありました。福岡から大阪へ、治療もそろそろ終盤なのでは？と感慨深い思いで向かいましたので、本当に『手記』のお話があった時、思わず『書いていいんですか？』と尋ねてしまいました。

ここまで松本先生を信じられたのは、何件かの皮膚科で受けた治療による不信感と疑問を、松本先生が解決してくれたからです。それと忘れてはならない事は、家族の協力と同意です。私は仕事を持っているので、保育園に預けられない二男の面倒は、主人の両親が見てくれました。二男の入院中も、仕事が休めなかったので、主人と主人の両親と実家の両親が、交代で対応してくれました。その事にとっても感謝しているし、今の二男があるのは、皆のお陰だと言うことを忘れてはいけないと思っています。そして一番頑張ったのは、やはり二男本人だったでしょう。『たつくん、よく頑張ったね！！』そう思うと胸が熱くなります。

辛いこと、挫けそうになること、何度も何度もありました。だけど治療を受けていらっしやる方、これから治療を受けられる方、どうぞ松本先生の理論を理解して、アトピー完治に向けてまい進して下さい！！以前は目を覆うような痛々しい姿でしたが、今は誰よりも綺麗な肌をしています。